

地域商店と連携した 加賀市のエコポイント事業について



加賀市地域振興部環境課環境政策係

加賀市の概要

- 石川県の南西に位置し、福井県と接する。
- 平成17年10月に山中町と旧加賀市が合併し、新加賀市となる。
- 人口 72,584人

(平成23年10月1日現在)

- 山代温泉、山中温泉、片山津温泉といった温泉地にも恵まれており、観光業が盛んであるほか、機械製造業も発達している。
- 平野部の稲作をはじめ、丘陵部では梨、ブドウの果樹、ブロッコリー、トマト等の野菜栽培、山間部では自然薯などの特産品づくりに取り組んでおり、漁業では橋立港でズワイガニが水揚げされる。



加賀市の地球温暖化防止における 取り組みの経緯

加賀市の地球温暖化防止における 取り組みの経緯

H10年度	加賀市エコオフィス運動実施
H13年度	ISO14001 認証取得（市庁舎）
H14年度	ESCO事業実施（市庁舎）
H16年度	加賀市地球温暖化防止実行計画策定
H17年度	加賀市バイオマスタウン構想公表
H20年度	加賀市地球温暖化防止地域推進計画策定 （区域施策編）
	加賀市地域新エネルギービジョン策定
H22年度	加賀市地域省エネルギービジョン策定

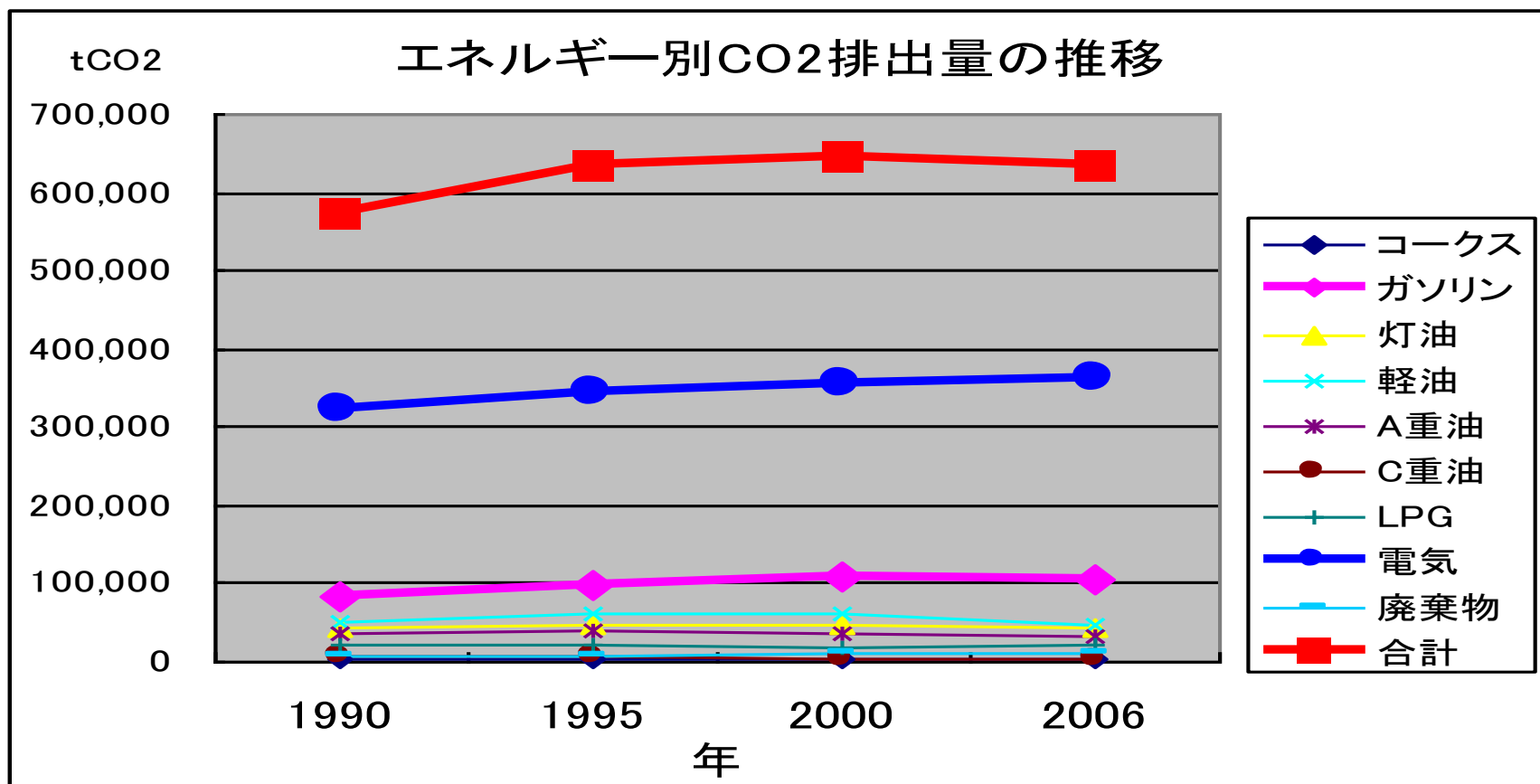
加賀市地球温暖化対策地域 推進計画基礎調査

(平成19年度実施)

加賀市内における家庭事業所等の
エネルギー消費量、温室効果ガス
(CO₂) 排出量の現況調査

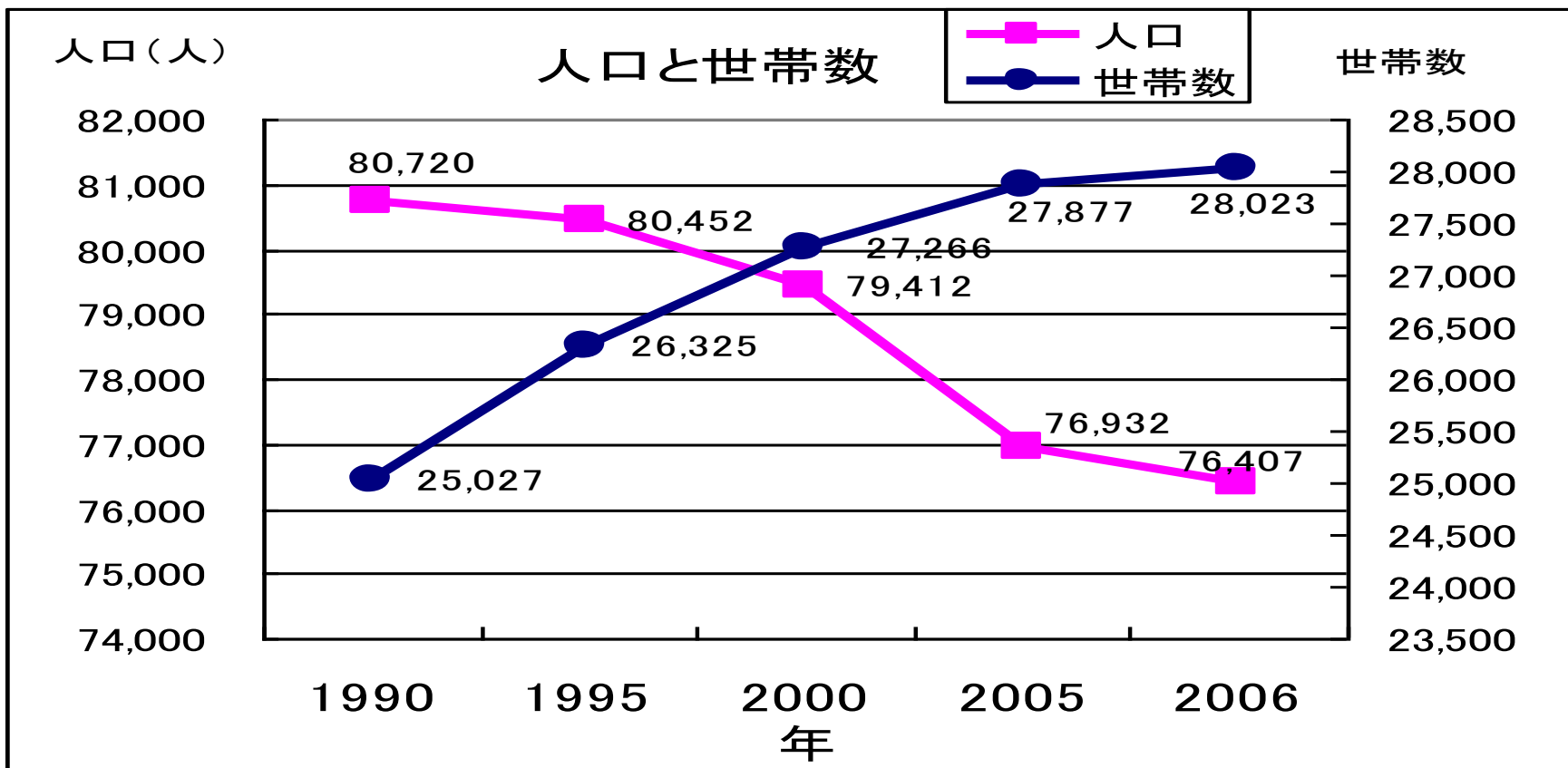
地球温暖化対策基礎調査

1. エネルギー別CO2排出量（加賀市）



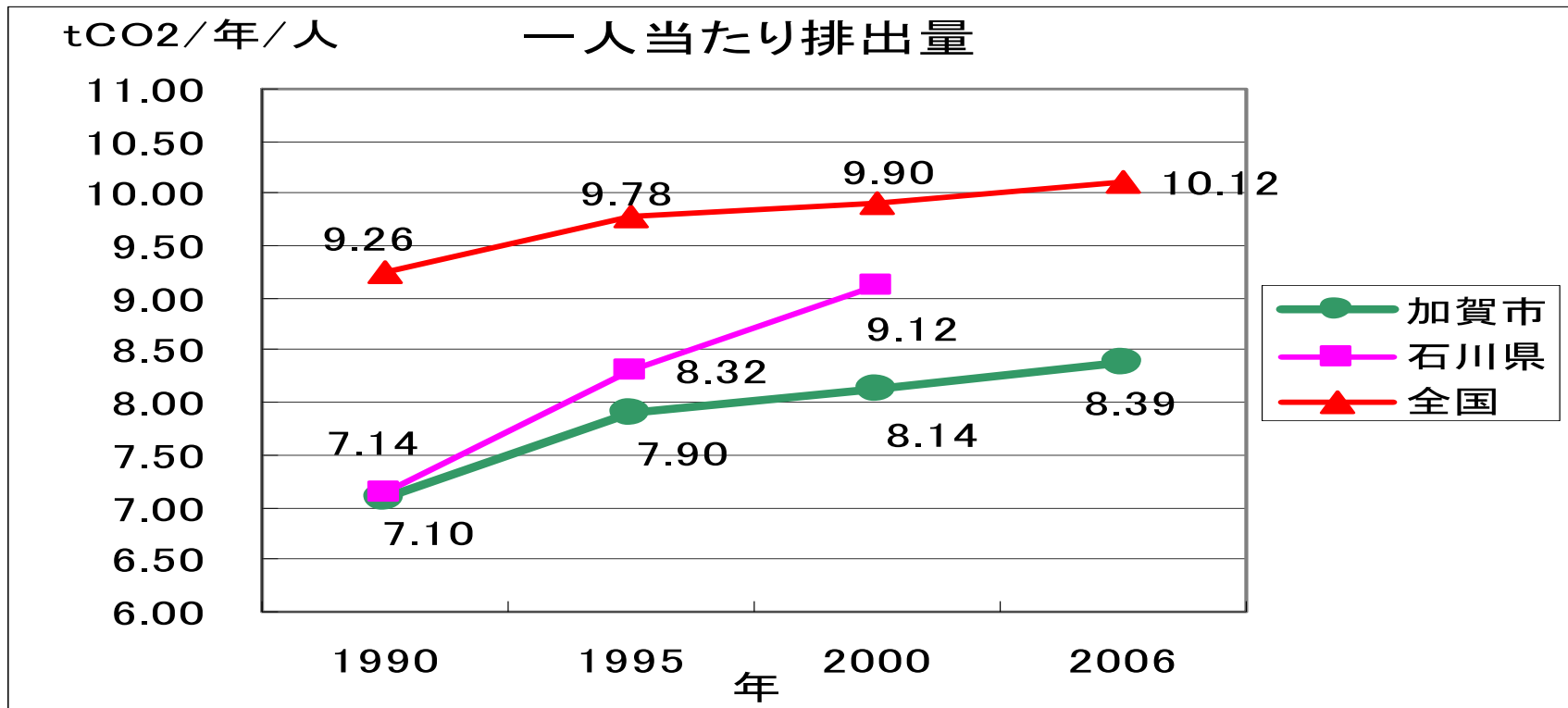
地球温暖化対策基礎調査

2. 人口と世帯数（加賀市）



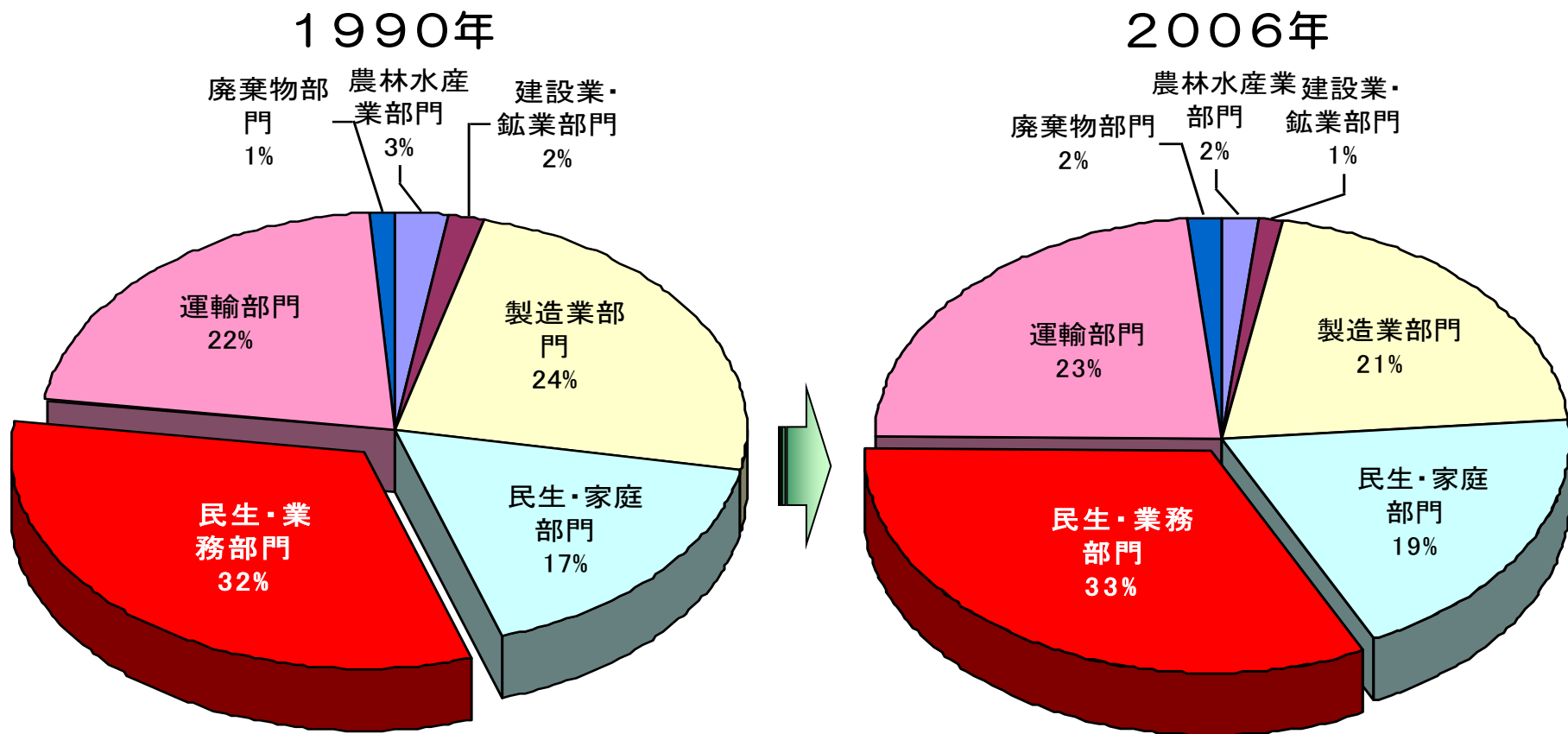
地球温暖化対策基礎調査

3. 一人当たりの排出量（加賀市）



地球温暖化対策基礎調査

4. 部門別CO2排出量の割合（加賀市）



加賀市地球温暖化対策地域推進計画 (区域施策編)

市民・事業者・市が、各々の役割に応じた温室効果ガスの排出抑制に向けた対策の総合的な計画を平成21年3月に策定

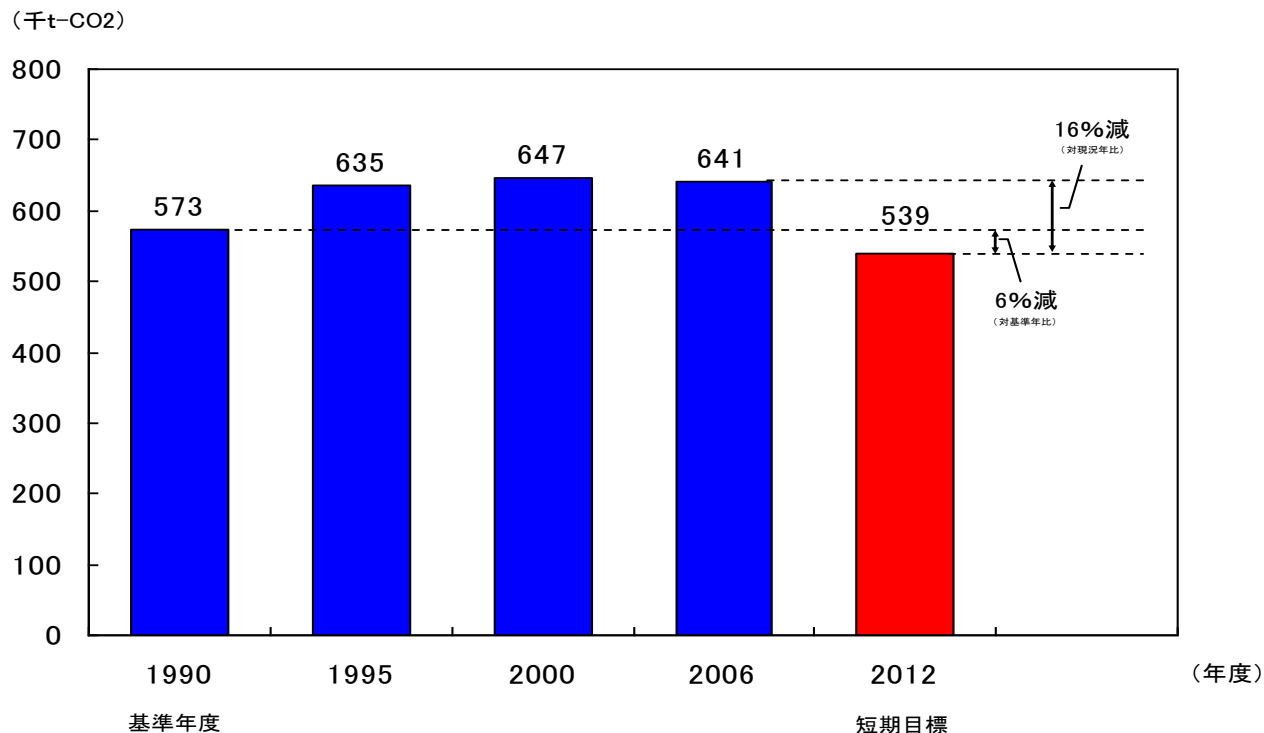
削減目標

温室効果ガスの削減目標

＜短期目標＞

2012年度に1990年度と比べて6%の削減

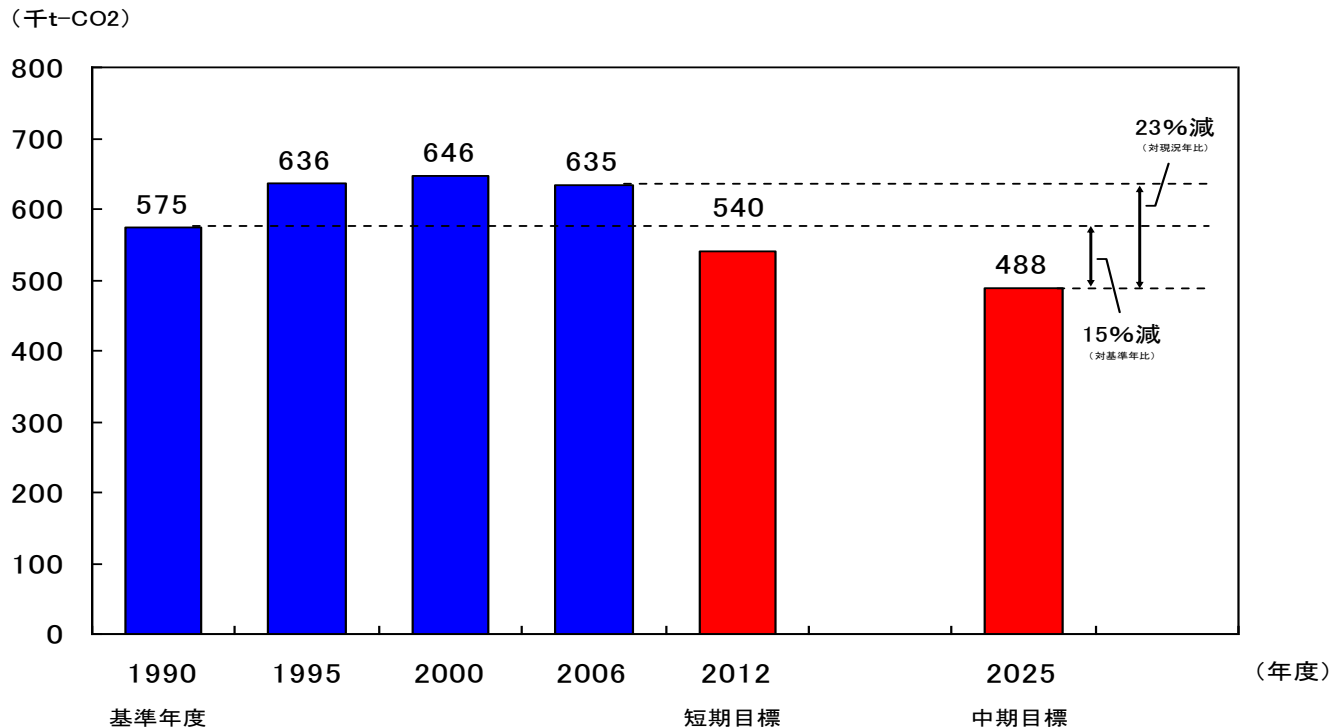
(京都議定書)



温室効果ガスの削減目標

＜中期目標＞

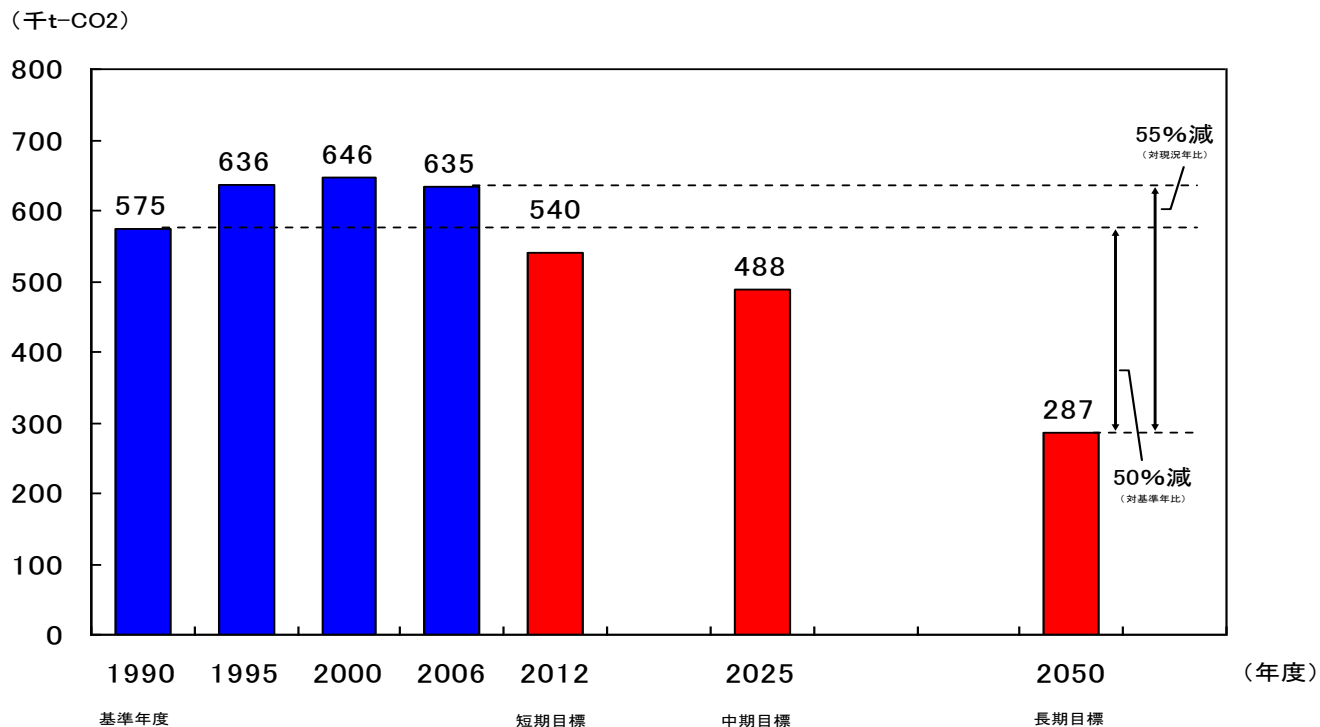
2025度に1990年度と比べて15%の削減



温室効果ガスの削減目標

<長期目標>

2050度に1990年度と比べて50%の削減



加賀市地球温暖化対策地域推進計画 (区域施策編)

目標達成に向けた取組み
重点プロジェクト

加賀市地球温暖化対策地域推進計画

＜重点プロジェクト＞

- ① エコライフポイント推進プロジェクト
- ② 「優良エコ企業」認定プロジェクト
- ③ エコドライバー普及促進プロジェクト
- ④ バイオマス資源利用促進プロジェクト
- ⑤ 緑豊かなまちづくり推進プロジェクト

加賀市エコポイント事業

<取組みの枠組み>

【対象】市民 【実施主体】加賀市

【協働・協力主体】加賀市合同スタンプ会（市内商店街スタンプ発行組織）

【目的】・日常の買い物でエコポイントを発行／利用することで、環境問題に対する多くの市民の「当事者意識」を刺激し、環境活動への取組意欲を高める。

- ・本制度を集客・販促に活用することで、地域商圈の活性化につなげる。

【実施期間】平成21年6月から開始

【費用】エコポイント換金代 50千円程度／年

ポスター、のぼり旗、クーポン券印刷代等 214,000円

※初年度のみ、次年度からエコクーポン券印刷代20千円程度

※事務局人件費（ふるさと雇用再生特別交付金事業）H21～H23



事業開始までの経緯

①協働・協力主体の選定

- ・地元商店街の活性化を考慮

②商店街との連携・ポイント制度の検討

- ・ICT、エコポイント専用台紙の作成等の検討

<課題>

- ・市内5スタンプ会（商店街）のスタンプ機が違う
- ・5商店街合計273の個店の理解と周知
- ・高年齢化によるエコポイント交換方法の簡素化
- ・スタンプ会の旨み

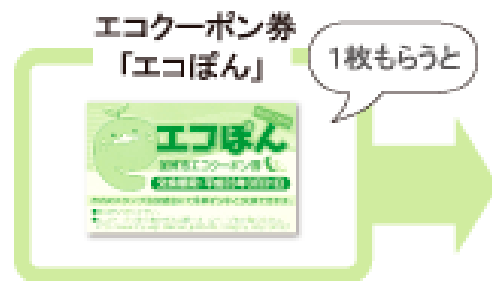


結果

事業開始までの経緯

＜エコポイント事業制度の構築＞

- 市が考えたエコポイント制度に参加するのではなく
スタンプ会の枠組みに参加する方法を選択
- 参加方法は、5スタンプ会で交換可能のエコクーポン券を
発行し、**スタンプ会のポイントと交換**
※交換されたクーポン券は、通常個店が各スタンプ会から購入
するポイント金額と同金額で精算（1P=2円）
- 結果として**スタンプ会個店自らエコポイントを発行**することに理解を得た。（273店のエコ意識の向上）

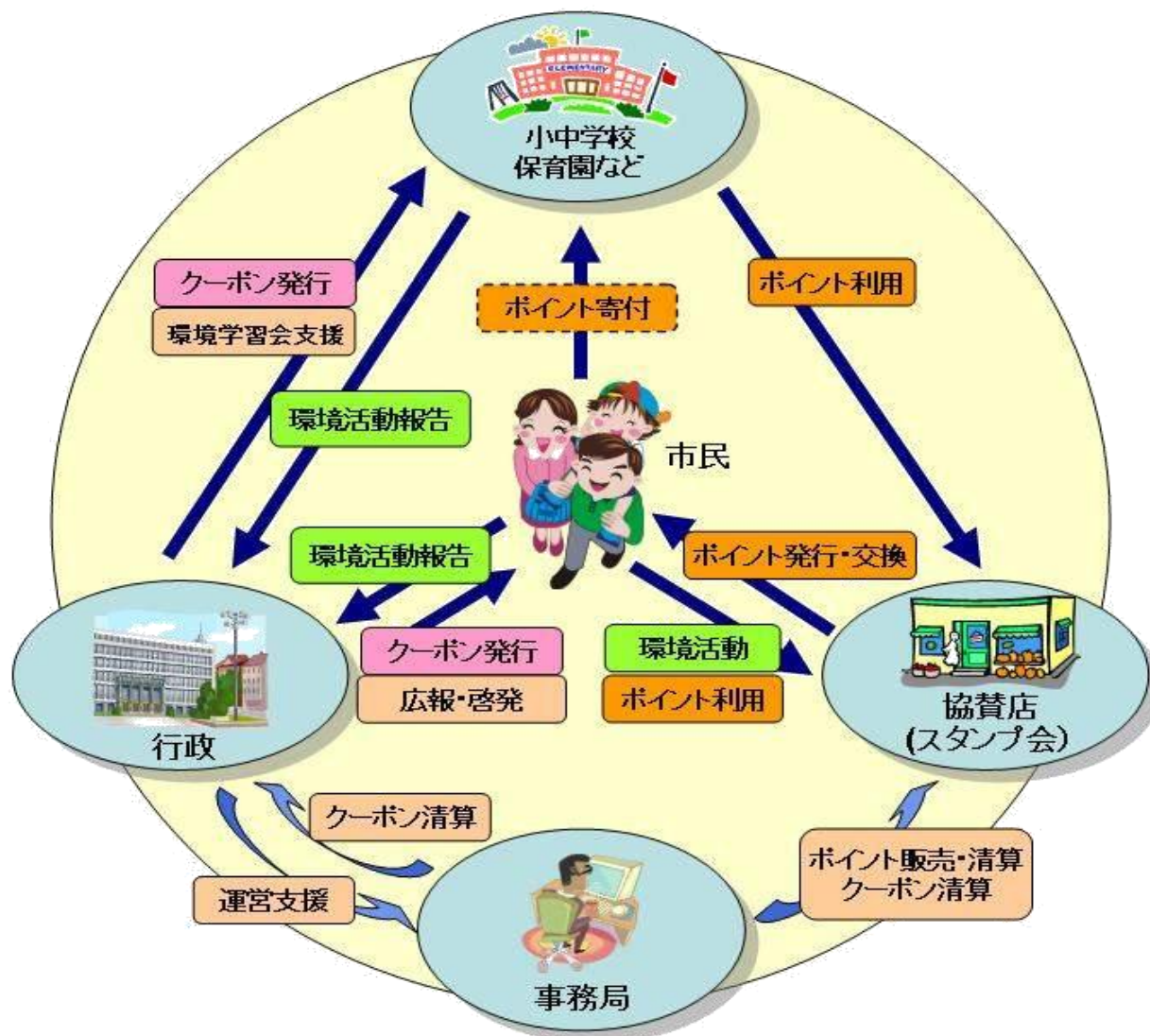


取扱店(市内5スタンプ会)

- ・キララカード(大聖寺)
- ・ニコニコカード(山中)
- ・ラブゆーカード(山代)
- ・ゆーでるカード(片山津)
- ・キングズカード(動橋)

加賀市エコポイント事業内容

＜加賀市エコポイント事業制度イメージ図＞



加賀市エコポイント事業内容

＜事業開始時の発行内容＞

【市が発行するエコクーポンの発行】

発行内容	エコぽん 発行単位
クリーンビーチ&リバーin かが	1枚/人
キャンドルナイトイベント	1枚/人
エコフェスタin かが	1枚/人
ふるさとの森植樹祭	1枚/人
かが市民環境会議、その他の活動	1枚/人
エコ講座	1枚/人
環境家計簿	2枚/人

エコプロジェクトHP利用者 1枚/人

【スタンプ会が発行するポイントの発行】

ポイント発行対象	ポイント数
マイバッグ持参	1ポイント
めがね、時計修理・ 宝飾品リフォーム	1ポイント
マイ箸	1ポイント
売り出し期間の来客	1ポイント
月締貸金を自店に支払い	1ポイント
包装紙辞退	1ポイント
カメラ用電池の交換	1ポイント
古い着物の仕立て直し	1ポイント
マイバッグ・空き瓶持参	1ポイント

加賀市エコポイント事業内容

＜現在の発行内容（追加）＞

○市内小中学校の環境教育を推進するため、学校エコポイント事業（学校で出来る環境ISO簡易版）を実施

＜内容＞・環境活動計画書の作成

・定期的に活動報告→内容に応じエコクーポン券を発行

※この環境活動計画書を基に石川県の「いしかわ学校版環境ISO」の認定を順次受けています。

○エコフェスタinかが（環境啓発イベント）において抽選会の抽選券として利用

※来場者、徒歩、マイ箸、巡回バス利用者、会場内環境啓発ブースにてクーポン券を配付



加賀市エコポイント事業内容

＜今後の発行検討内容＞

- 保育園、幼稚園、高等学校での環境活動計画書の作成、報告制度の構築
- 市民、団体の環境活動に対しても広くエコクーポン券を発行
発行団体数を募集し段階的に拡大予定
地区→町内→団体（配付数に応じ拡大）
※現在試験的に地区、町内行事での環境活動に対しエコクーポン券を配付（ガイドラインの作成）



加賀市エコポイント事業取組み実績



エコクーポン券配付／交換（精算）実績

・平成21年度（開始年度）

配付数（市→市民）	9,452 枚	(47,260P)
交換数（市民→スタンプ会）	2,075 枚	(10,375P)
精算額（スタンプ会→事務局→市）	20,750 円	

・平成22年度

配付数	//	15,782 枚	(78,910P)
交換数	//	5,731 枚	(28,655P)
精算額	//	57,310 円	

加賀市合同スタンプ会各個店エコポイント発行総数

- ・平成21年度 15,095P
- ・平成22年度 46,244P

加賀市エコポイント事業

<メリット>

○エコクーポン券の汎用性の高さ

- ・講座、教室、清掃活動等の市の環境取組みに対し発行が可能
- ・市以外の環境活動（地域の行事での環境活動等）に対しても発行が可能
- ・クーポン券の特性を生かし、環境イベントでの抽選会の抽選券としても利用が可能

○市と連携団体のスタンプ会とともにWinWinの法則が成り立ち、交渉がスムーズ

（安価での環境啓発、スタンプ会カード利用者の増加）

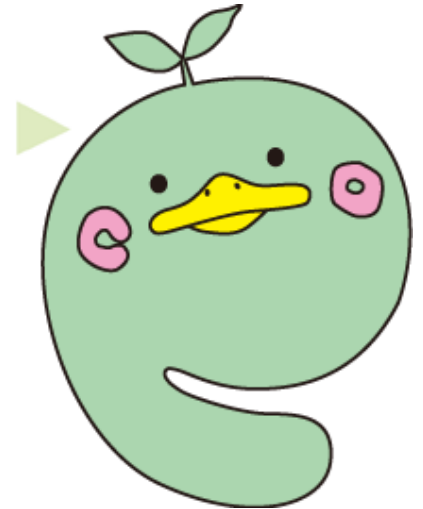
<デメリット>

- ・クーポン券は紙媒体であるため、省資源化が課題

加賀市エコポイント事業

<取組みの効果（結果）>

- 加賀市エコポイント事業キャラクター「エコぽん」を作ったことで市民の評判が良い（特に小、中学生）
- 学校展開することで**環境担当の教職員**が設けられ、学校での展開がスムーズ
- 連携により地域商店の活性化に繋がっている。



加賀市エコポイント事業

＜今後の課題、展望＞

- 市民へのさらなる普及・啓発

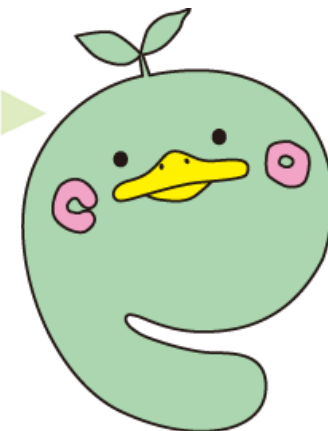
※アンケート調査で

47%が「利用しない、関心がない」

11%が「知っていて利用している」

と回答（H22.10調査）

- 加賀市エコポイント事業、参加商店のICT化、エコアクションポイントの参加
- ふるさと雇用再生特別交付金事業終了に伴う事務局の存続
- 計画削減目標の達成



加賀市地球温暖化対策地域推進計画

＜今後の課題＞

計画重点プロジェクトによるCO₂削減効果

No.	プロジェクト名	CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /年)	備考
1	エコライフポイント推進プロジェクト	3,415	各家庭における削減効果は、計画目標(3万人)と巻末資料8「家庭で取り組める省エネ行動によるCO ₂ 削減効果」より算定。小中学校における削減効果は、過去の削減実績より算定。
2	「優良エコ企業」認定プロジェクト	1,519	計画目標(認定100企業)と加賀市庁舎におけるCO ₂ 削減実績より算定。
3	エコドライバー普及促進プロジェクト	4,851	計画目標(エコドライブステッカー1万枚配布)と過去のエコドライブ実績より算定。
4	バイオマス資源利用促進プロジェクト	—	地域新エネルギービジョンと計画が重複するため、CO ₂ 削減効果は計上しない。
5	緑豊かなまちづくり推進プロジェクト	—	CO ₂ を吸収・固定するまでの樹木の成長に一定期間を要することから、短期的なCO ₂ 吸収効果は計上しない。
地域新エネルギービジョンによるCO ₂ 削減量		2,581	加賀市地域新エネルギービジョン報告書より記載(計画実施期間は2009年から2018年まで)
合計		12,366	目標達成に必要な削減量の18%に相当※1

※1 短期目標の6%削減量に対する削減割合

ご静聴ありがとうございました。